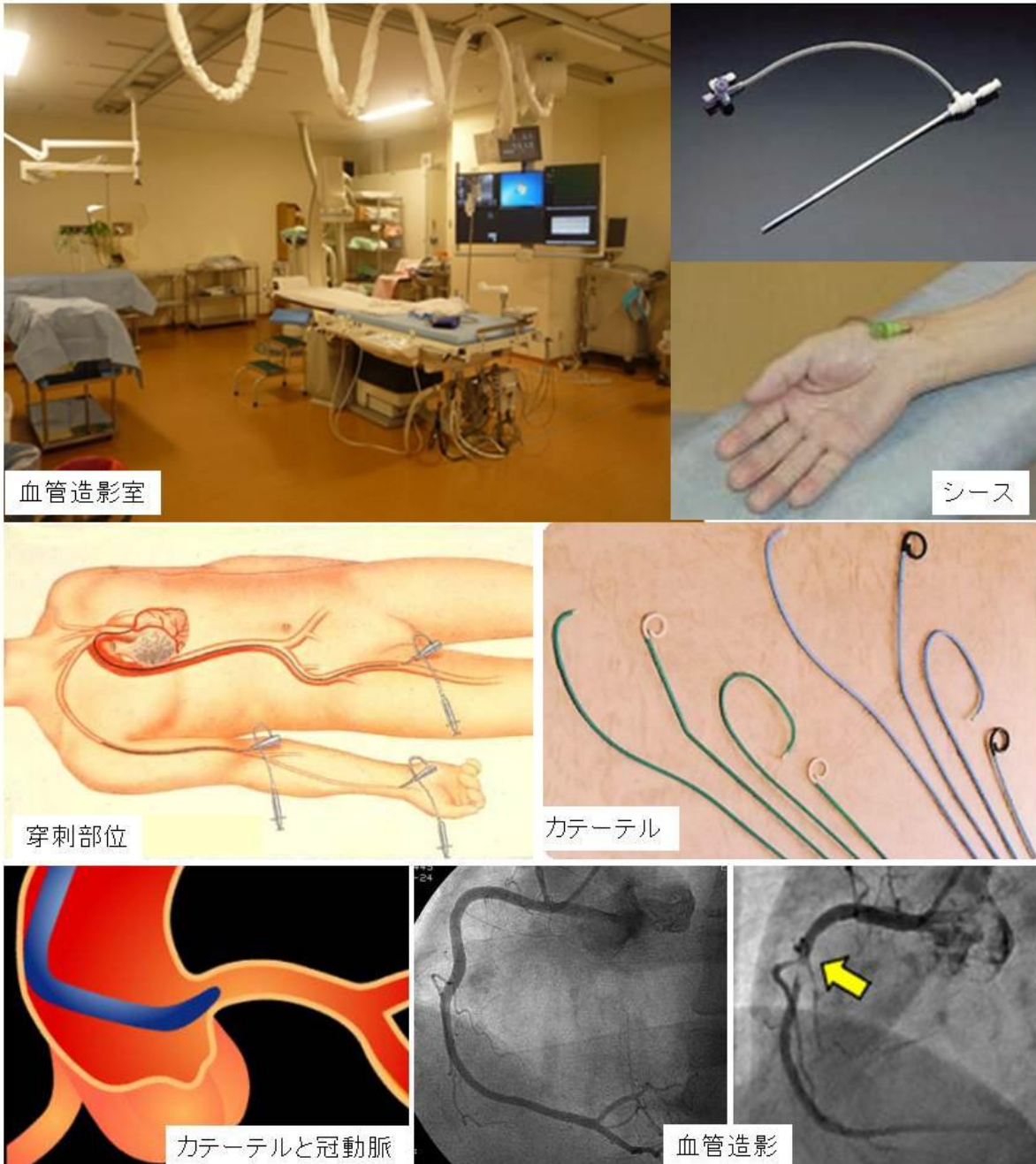


カテーテル検査目的で入院の患者さまへ

狭心症、心筋梗塞、下肢閉塞性動脈硬化症など血管の状態を評価するために専用の血管造影室でカテーテル検査を行います。

まず手首、肘、鼠径部の動脈よりシースを留置し、血管との交通路を作り、そこからカテーテルを挿入して、目的の部分へ進め、造影剤を用いて撮影します。



検査の結果、狭窄部、閉塞部が見つければ、治療を行います。

- * 患者さまの病状により検査内容が変わることがあります。
- * 専門用語に関してはインターネットなどで検索できるように省略していません。